

## ベルマーク新聞 2月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)  
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

## 都市ならではの災害に対応するには

## 東京・渋谷区立笹塚小で防災科学教室



①横山さんのクイズに、元気よく手を挙げる児童 ②赤い円は暴風域、黄色い円は強風域、白い円は予報円 ③講師の横山さん。PTAの保護者が手作りした名札を胸に ④⑤児童がマークを切ったり数えたりしている

財団のソフト事業「教育応援隊」のプログラムのひとつ、「防災科学教室」が11月8日、東京都渋谷区の区立笹塚小学校(西田香校長、児童550人)で開かれました。この教室は国立研究開発法人防災科学技術研究所と財団が、参加団体向けに共催しているものです。

この日は、笹塚小PTAと地域学校協働本部が共同で開催する「防災宿泊体験会」。6年生を対象に参加を呼びかけ、希望者が防災を学ぶイベントです。児童と保護者合わせて約40人が集まりました。

今回の講師は水・土砂防災研究部門の特別研究員、横山仁さん。テーマは「都市のヒートアイランド現象とゲリラ豪雨」で、スクリーンに資料を映しながら講話をしました。

横山さんがまず映したのは大きな渦を

巻く雲の写真。約1カ月前に日本列島の東を通過した台風22号です。

授業はクイズを交えながら進みます。「写真にある赤い円、黄色い円、白い円はなんだろう?」「台風はどちら回り?」「ここ数年、台風がどんどんすごくなっている要因は?」と続く質問に、どの児童もしっかり手を挙げて答えました。

答えは、赤い円が暴風域、黄色い円が強風域、白い円が予報円。回り方は反時計回りで、風がより強いのは右側。台風の力が増している要因は地球温暖化です。

地球温暖化によって、世界の年平均気温は100年で0.77℃上がりました。次のクイズは「日本で見ると1.4℃上がっています。その中でも大都市東京は3℃くらい上がりました。なぜ東京だけ?」です。正解はヒートアイランド現象。アスファ

ルトの多い東京は、太陽から多くの熱を吸収します。そして、ヒートアイランド現象のあたたかい空気が引き起こすのがゲリラ豪雨。どちらも、都心に住む笹塚小の児童にとって身近な気象現象です。

最後に、渋谷区が発行している「渋谷区民防災マニュアル」を確認しました。「自分の住んでいる地域の地形や、昔どのような土地だったかにも関心を持ちましょう。日頃から天気、気温、湿度の変化に興味を持つこともいざというときに役立ちます」と横山さんは防災への心構えを伝えました。

◇

笹塚小学校では、今年度からベルマーク活動の中心を5、6年生の環境美化委員会に移し、保護者はサポート役として児童を見守る体制を整えました。

渋谷区内の公立小中学校では、昨年度から「探究学習」の時間を増やす取り組みが始まり、「ベルマークこそ、子どもが気軽に自分たちでできる探究活動」との考えから、2024年度にPTA会長を務めた村竹あつこさんが改革に取り組んだ成果です。村竹さんは「子どもも楽しんでいるし、保護者からも学校の様子を見ることができて楽しいという声が上がっています。どちらも嬉しくなることを目指している」と語ってくれました。

日頃からの備えが  
大切なんだね!!



## 今年度、日本人学校支援の対象校は4校

## 2025年度に予定していた支援は完了

ベルマーク財団が毎年実施している日本人学校支援について、2025年度の対象校が決まりました。ドイツのマイッツ日本語補習授業校、インドネシアのスラバヤ日本人学校、ドイツのハンブルグ日本人学校、スペインのバルセロナ日本人学校の計4校です。それぞれの学校が希望する備品・教材を贈りました。希望が多かったのは絵本や紙芝居、かるたといった日本の文化を学べる教材。一方で、玉入れ用の布製ボールや長縄などの体力づくりに役立つ教材を選んだ学校もありました。

財団は、日本人学校への支援を1991年度から実施してきました。これまで支援した学校は、今年度分を含め

て286校になります。

これをもって、2025年度に予定していたすべての支援が完了しました。今年度は全国のへき地学校100校、特別支援学校39校、3つの院内学級、能登半島地震の被災地にある28校、岩手・宮城・福島3県の東日本大震災被災校103校、日本人学校4校に備品・教材を届けることができました。このような支援は、参加団体の皆さんの日々の活動と、財団に寄せられる寄贈マークなどによって実現することができています。

これからもベルマーク運動へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

エプソン製カートリッジ  
webフォームでの受付に

## 専用回収箱の請求や回収の依頼

協賛会社のエプソン販売(ベルマーク番号73)は、使用済みインク・トナーカートリッジのリサイクルの申し込み方法や問い合わせ先をすべてwebフォームに切り替えました。回収箱や各種資料に記載されているこれまでの電話番号とFAX番号は使うことができません。

集めたカートリッジを入れる回収箱の請求や、運送会社への回収の依頼は以下のURLをご確認ください。

ベルマーク活動 各種お申し込み：<https://www.epson.jp/recycle/bellmark/tejun.htm>

## ベルマーク便りコンクール2025 入賞校を訪ねて①

ベルマーク活動を学校内外にアピールするベルマーク便り。財団は、参加団体が作ったお便りを募集する「ベルマーク便りコンクール」を毎年実施しています。40回目を迎えた今回は117の参加団体から作品が届きました。どの作品も個性あふれるものばかりで、大変読み応えがありました。

審査の結果、優秀賞10校、佳作6校、特別賞5校の計21校が入賞しました。今月号ではそのうちの3校の活動をご紹介します。来月号にも紹介は続きますので、ぜひご覧ください。入賞校のリストは、ベルマーク新聞11月号や財団のホームページに載せています。

### 合言葉は「ペアッと(P)楽しく(T)明るく(A)」

#### 優秀賞・福山市立新涯小(広島)

広島県福山市にある市立新涯小学校(木元直樹校長、児童747人)のPTAボランティア「ベル隊」が発行するお便りが優秀賞に選ばれました。コンクールに応募してくれたのは、PTA筆頭副会長の橋野聡子さんです。

新涯小PTAではこれまで、年度初めに決まった人数の役員や部員を選出するのがルールになっていました。もっと進めやすいやり方に変えようと、それまであった各部の活動を2023年度で終わりにし、新たに立候補制として活動を始めました。本部役員に5人が立候補しましたが、『学校や児童のために、この人数で何が出来るか』を模索する日々が続いていました」と橋野さんは振り返ります。

そんなある日、学校の廊下を歩いていた橋野さんの目に入ったのが「回収箱」です。以前使っていた箱が手つかずのまま放置されていました。自分たちに出来ること

を探していた橋野さんは、新体制となったPTA活動の手始めに、ベルマーク集めに取り組むことにしました。

最初の課題はメンバーを募集することでした。そこで選んだ手段がお便りの配布です。初めて発行したのは「PTAだより増刊号」。ベル隊の合言葉は「ペアッと楽しく明るく」です。頭文字をつなげると「PTA」になります。「お便りは楽しく読んでもらいたい」と橋野さんが話すのとおり、たくさんの情報に加えて、季節感のあるイラストが多く散りばめられています。

その後も発行を続け、現在、ベル隊のメンバーは18人になりました。

「保護者の皆さんに感謝の気持ちしかありません」と話すのは片岡正行教頭です。新涯小の特色をうかがうと「保護者の方が自ら手をあげて、前向きにPTA活動に協力して下さることで」と話してくれました。



①テトラパックの回収箱は「アルミなし」と「アルミ付き」に分かれている ②手作りの箱を使って ③ベル隊のみなさんと教頭先生(右)

### 多くの方に部の存在を知ってもらいたい

#### 佳作・福生市立福生第三小(東京)

東京都福生市立福生第三小学校(浅倉宏之校長、児童379人)は、休止していた活動を今年度から再び始めました。再開のきっかけは、保護者が新たな気づきを得たことでした。

発端は、過去にベルマーク活動をしていた記録を今年度のPTA副会長、加藤奈津香さんが見つけたことでした。

「ベルマークのような作業が好きなのはいるし、子どもが喜ぶものを購入できるなら、やらないと損なのでは」とそう気づいた加藤さんは、「ベルマーク部」の立ち上げを提案。PTAから派生した組織と位置付け、活動したい人に広く参加を呼びかけられる体制を整えました。

2025年4月に発行したのが「再開のお知らせとご協力をお願い」というお便りでした。運動の目的と回収方法を周知し、部員募集も呼びかけました。

回収のためにウォールポケットを用意しました。集め

たあとに効率よく集計することができます。昨年度にPTA副会長を務めた足立さやかさんと一緒に、より使い心地が良くなることを目指して作りました。

7月には「ベルマーク通信 vol.1」を発行し、集まった点数や、部員の活動内容、地域の回収箱の設置場所などを載せました。PTA広報誌でもベルマーク部のスペースを設けてもらい、お便りを通じた周知に力を入れました。

活動を始めてみて、足立さんが感じたことは「いろいろな企業が子どもたちのために協力してくれていることの素晴らしさ」。加藤さんは「活動を始めるまで、お買いものした額の10%が支援になるのは知らなかった。そこが募金との違いだと思う」と意義を語ってくれました。より多くの方にベルマーク部の存在を知ってもらい、部員を増やすことを目標に、これからも活動を楽しみたいとのことでした。



①PTA室前をベルマークコーナーに。ウォールポケットには協賛会社の商品写真がたくさん貼られている ②作成したお便りを手に

### 「何のために集めるか」を伝えていく

#### 特別賞・小金井市立小金井第三小(東京)

東京都小金井市の市立小金井第三小学校(黒木智道校長、児童861人)は1961年から参加しています。1975年にいったん活動を休止しましたが、2009年に再開。現在はPTAボランティア「サンベル」を中心に活動しています。

サンベルの名前は「第三小学校のベルマークボランティア」だから。大切にしてきたのは「参加を強制しない」「楽しく続ける」という姿勢です。現在の代表を務める佐々木景子さんは「サンベルは参加を強制せず、集まれる人が集まれるときに来る。それでも自然と人が集まってくるのがこの活動の良さだと思っています」といいます。

サンベルのスローガンは「夢をかたちに」。キャラクターの妖精「ベルリンちゃん」はオリジナルで、イメージカラーは黄色です。

サンベル創設に関わった八田珠穂さんは、当時を振り

返ります。

「ベルマークを知ってもらおうことが、まず大事だと思いました。キャラクターをつくったのも、子どもたちに親んでもらうため」

活動の中で大切にしているのは、「何のために集めているのか」を子どもたちに伝えること。「集める」「集計する」「必要なものを買う」「次に何をかうかを考える」——この循環を意識的につくることで、活動が「自分事」として受け止められていきます。

地域柄、転勤族が多く、生活スタイルもさまざまですが、その時々で関わる人が関わり、バトンを渡してきました。危機を迎えた時期もありましたが、話し合いを重ね、乗り越えてきた経験が、今のサンベルにつながっています。



①作業に集まったサンベルのみなさん。和やかな雰囲気の中、お話が尽きることはなかった ②サンベルのオリジナルキャラクター「ベルリンちゃん」

# 豊かな環境を次世代につなぐ

## エコプロ2025に協賛会社が出展

環境問題への取り組みを企業や団体が紹介する「エコプロ2025」が12月10～12日、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開かれました。同じ期間に、社会インフラや自然災害対策をテーマにした展示会もあり、「SDGs Week EXPO」のひとつとしての位置付けです。SDGs Week EXPO 全体で、約450社・団体が出展し、3日間で合わせて約6万人が来場しました。

ベルマークの協賛会社からはキユーピー(ベルマーク番号07)、明治(同25)、エプソン販売(同73)、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合(同76)が出展しました。

### 人々と地球のための「新しい食品」／キユーピー

プラントベースフードを展開しているブランド「GREEN KEWPIE」を紹介していました。

ブースではGREEN KEWPIEの商品を作る過程で出る二酸化炭素の量が少ないことや、多様な食の価値観に対応し、誰もが食べることを楽しめる未来などについての説明がありました。GREEN KEWPIE プロジェクトリーダーの綿貫智香さんは「ブランドに込めた思いや



背景、キユーピーがどのような社会を目指しているかも知ってもらいたい」と語りました。

### カカオのさまざまな可能性／明治

3つのコーナーからカカオを学べるようになっていたのが明治のブースです。

まずはカカオの基礎知識。

2つめは、森の生態系にならって複数の植物を育てる「アグロフォレストリー」についてです。3つめのコーナーは、カカオの新しい価値。カカオを丸ごと使い切ることによってカカオの価値を高め、生産農家に還元していくことにつながります。グローバルカカオ事業本部カカオマーケティング部の塚本菜月さんは「農家が手間をかけて育てたカカオには大きな価値があり、いろいろな可能性が秘められていることを伝えたい」と話しました。



### 環境への負荷の少なさが災害時にも役立つ／エプソン販売

展示されていたのはインクジェット複合機「LM-C6000」。低い消費電力で安定した稼働ができます。環境問題の解決策となるだけでなく、災害時にも役立つとして、同社

はBCP対策への活用を提案しています。BCPは「事業継続計画」という意味で、災害などの緊急時でも企業が事業を続けるための計画のこと。PオフィスMD部の石岡賢一さんは「『LM-C6000』は複合機カテゴリーとして初めて防災推奨認証を取得しました」と教えてくれました。



### リユース部品は環境への貢献そのもの／NGP

「伝えたいのは、サーキュラーエコノミーとは何か、NGPがどのように環境に貢献しているかです」と話してくれたのはサステナブル総務委員長の岸本恭秀さん。サーキュラーエコノミーは3R(リデュース・リユース・リサイクル)をさらに発展させ、廃棄物を出さずに資源を循環させることを目指す考え方です。「リユース部品」を使うことは、サーキュラーエコノミーの実現に直結します。ブース内では動画が上映され、見終わったあとは自動車のエンブレムのプレゼントがありました。



# 体験型の授業で楽しく学ぼう

## へき地校支援、理科実験教室と一輪車講習会を計5校で開催

財団はへき地校向けに理科実験教室や一輪車講習会を開いています。10月から2月にかけて、計5校で実施しました。

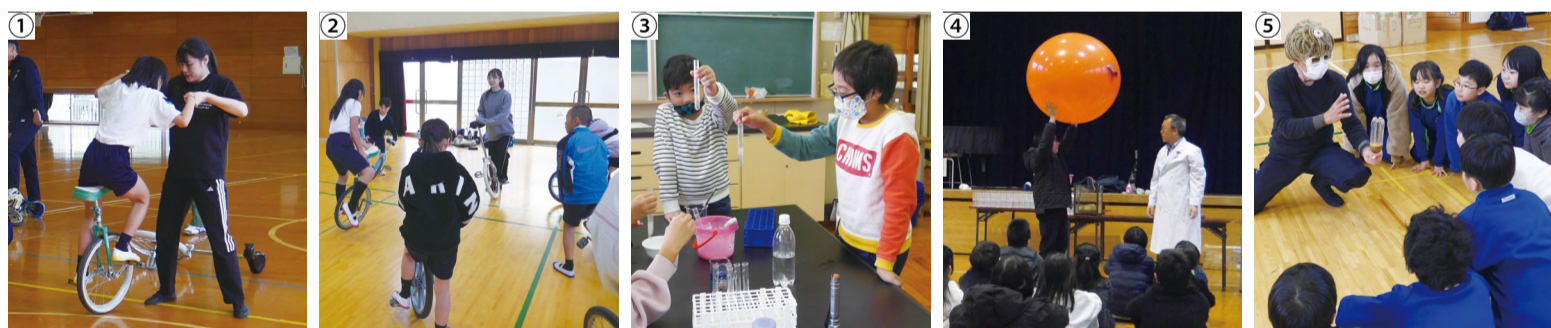
佐賀県伊万里市の市立波多津小学校では10月28日に、広島県三原市の市立鷺浦小学校では11月21日に一輪車講習会がありました。インストラクターによる模範演技の披露のあと、子どもたち自身で一輪車の点検をして、実技指導を受けました。インストラクターは「怖がら

ず、勇気をもって取り組んで」「グループ演技では自分がどうしたら、相手がやりやすいかを考えよう」と子どもたちに語りかけました。

愛知県岡崎市の市立宮崎小学校では11月17日に、理科実験教室が開かれました。講師は北海道立オホーツク流氷科学センターの学芸員、桑原尚司さん。11月28日に開かれた、新潟県の三条市立森町小学校の教室の講師は、富山大

学教育学部准教授の月僧秀弥さん。愛知県の新城市立黄柳川小学校で2月4日に開かれた教室では、国立研究機関の元研究者で理学博士の納口恭明さんと元専門員の樽優子さんが授業をしました。

講師たちはそれぞれの専門分野に親しみを感じてもらおうと、さまざまな実験を披露しました。子どもたちからは「難しい話を簡単に教えてくれて、ありがとうございました」という感想が寄せられました。



①手を取り、アシスト中(佐賀・伊万里市立波多津小) ②蹴り上げ乗車を練習(広島・三原市立鷺浦小) ③「過冷却」の実験。一瞬で凍る姿に興味津々(愛知・岡崎市立宮崎小) ④空気には重さがあるよ(新潟・三条市立森町小) ⑤砂と水の入ったペットボトルをよく振って、しばらく待つ(愛知・新城市立黄柳川小)

# スポーツ大会にマーク回収ブース

## スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会

一般社団法人日本ゴルフツアー機構(JGTO)の主催で、ベルマーク財団が後援する「第22回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会」が昨年11月29日、兵庫県三木市の三木ゴルフ倶楽部で開催されました。子どもたちが協力する心や思いやり、礼儀を学び、健やかに成長することを目的に始まりました。大会は東日本大会と西日本大会に分かれており、東日本大会は7月に福島県西郷村で行われました。

が設けられ、参加者が持参したベルマークが寄せられました。協賛会社のスミフルジャパン(ベルマーク番号70)は、選手らにバナナやパインを提供して大会に協力しています。

コースでは、「ナイスショット!」「オッケー!」といった声があちこちから飛び交い、家族の応援に包まれて、終始笑顔のあふれる和やかな雰囲気でした。お兄さんやお姉さんを応援する小さな子どもたちの姿も多く見られました。

集まったベルマークは、JGTO 貢献事業部長の宮内勝さんと山田寛さんが、後日財団へ届けてくれました。



ベルマークはこちらにどうぞ

# Totsuがインスタントカメラを販売中

協力会社のTotsuが「Kodak Mini Shot RETRO」を取り扱っています。撮ったその場でプリントできるインスタントカメラとしての機能と、スマートフォンで撮影した写真をプリントできるフォトプリンターとしての機能が搭載された2-in-1モデルです。

出力プリントサイズによって製品名が異なります。「Mini Shot2」は54mm×86mm。「Mini Shot3」は76mm×76mmです。お問い合わせはTotsu(0120-129-102)まで。



⑥Kodak Mini Shot2 RETRO イエロー(税抜20,000円)  
⑥Kodak Mini Shot3 RETRO イエロー(税抜22,200円)

# 友愛援助リスト

〈友愛援助申し込み〉1月1日～1月31日  
◆千葉県 さわやか県民プラザ(柏市)◆東京都 多聞小(世田谷区) 恵泉女学園中・高(世田谷区) 第四小(東大和市) 多摩桜の丘学園(多摩市) ひばりが丘中(西東京市)◆神奈川県 清泉女学院中高(鎌倉市)◆静岡県 オイスカ浜松国際高(浜松市中央区)◆兵庫県 ゆりのき台小(三田市)◆大分県 豊府小(大分市)

# 大台達成校

1月		
湖北台西小	千葉県我孫子市	4,003,356
道野辺小	千葉県鎌ヶ谷市	4,014,268
坂井輪小	新潟市西区	4,025,147
豊橋ゆたか学園	愛知県豊橋市	3,018,061
高美が丘小	広島県東広島市	3,000,840
広田小	長崎県佐世保市	3,013,216
鹿野小	仙台市太白区	2,003,595
高部屋小	神奈川県伊勢原市	2,007,753
大治西小	愛知県大治町	2,098,939
中島小	さいたま市桜区	1,006,339
関谷小	神奈川県鎌倉市	1,023,915
日野小	長野県須坂市	1,087,815
浜風小	兵庫県芦屋市	1,005,375

# 読んでみたい本 児童文学評論家・藤田のぼる

## 絵本

『くっきました』(内田麟太郎・作、高島那生・絵、すぎき出版)

最初の見開きの左ページには、墨をはきながらあたふたと走っているタコの絵。右ページには、それを見てあわてたふうなダルマの絵。「タコとだるまがくっきました」「だって／＼とてもすきでしたから」と書かれています。そして合体した二人は、「タコ・だるまちゃん」に。次はバラ、その次はしっぽというふうに、いろいろなものとくっついて、その度に名前もくっついていきます。なんだかよくわからないけれど次のページが楽しみになる、内田麟太郎の世界。低学年の教室で読んであげたら、子どもたちが笑顔になりそうです。(低学年向き、1500円+税)



『おなかのなかのだいそうげん』(神尾茉莉・作、アリス館)

飲んだ水は、お腹の中でどうなっているの？ お腹の中が海のようになっていて、魚たちが泳いでいるかも知れない。熱々のラーメンを食べたパパのお腹の中は、温泉になっているかもしれない。そして、ぼくが苦手な野菜サラダを食べたママのお腹は、緑の大草原に……。刺繍を使った絵が不思議な効果を生み、空想を楽しませてくれます。みんなで読んでもいいし、一人で見ても、楽しめそうです。(低学年以上向き、1400円+税)



今では当たり前になった女子マラソンですが、50年程前までは、「女子にはフルマラソンは無理」というのが“常識”でした。そうした中で、1966年にボストンマラソンに女子として初めて出場したボビー・ギブ。実は、主催者からは参加を断られ、こっそりレースに加わったのです。結果は、全体の三分の一に入る順位でした。そして1972年から女子の参加が正式に認められるようになったのです。大胆な構図が、ボビーの勇氣ある挑戦や、それを阻んでいた様々な“壁”を感じさせる、絵本ならではの表現になっています。(中学年から、1800円+税)



## 低・中学年向け

『いたいのいたいのつかまえて』(千葉智江作、あかね書房)

「いたいのいたいの、とんでいけ」は不思議に良く効くおまじないで、「いたいの」は一体どこに飛んでいったのか？という疑問は、誰もが一度は思ったことがあるのではないのでしょうか。逆上がりの練習でけがをした二年生のまなみが保健室に行くと、窓から入ってきたのはかみなり君。持っていた大きな袋には、みんなのイタイノが入っているのだ、と言います。子どもの心の世界をそのままストーリーにしたような世界を、絵も描いている作者が、ちょっとユーモラスに描いていて、読者の共感を呼びそうです。(低学年以上向き、1200円+税)



『あたしは勇者になれますか？』(荒木せいお・作、イシヤマアズサ・絵、岩崎書店)

表紙の日本語のタイトルの中に「Can I become a Hero?」と書かれています。女の子が剣を掲げています。「あたし」というのは4年生の可乃子。運動会明けの火曜日、同じ体育係の鈴ちゃんと、校庭を眺めています。そこでは、男の子の体育係、晴彦と仁が、運動会の際に地面に打ちつけたペグを引き抜いています。ところが、最後の一本がどうしても抜けないのです。まるで、アーサー王伝説のエクスカリバーのよう。そこにやってきた“魔女”といううわさのある教頭先生も、それを口にしませす。試しに鈴ちゃんがやってみるとダメ。ところが、可乃子が挑戦すると、ペグはあっさり抜けたのです。「おめでとう、選ばれし勇者」と、晴彦。ここから、可乃子のちょっと不思議な体験が始まります。子どもの「もしも」が現実になっていくようなストーリー展開。でも、その「もしも」は、可乃子を救ってくれるのです。(中学年以上向き、1400円+税)



## 高学年・中学生向け

『小泉八雲と怪奇バスターズ』(小前亮・作、もなか・絵、理論社)

6年生の久保勇樹と杉原世志斗。二人の“夢”は、怪談の動画を作って配信すること。配信は親から禁止されているので、今はそのネタ集めに集中しています。そんな二人が頼りにしているのは、外国人のソレガシさん。本職は文化人類学者ですが、



いつも公園で、日本の昔話の紙芝居を見せてくれます。そのソレガシさんが二人に教えてくれたのが、小泉八雲のこと。ここから第二話「耳なし芳一」、第三話「むじな」というふうに、二人の身近で起こるできごとと、ソレガシさんが語る八雲の怪談がからんでいきます。「怪奇バスターズ」は二人が考えた自分たちのチーム名で、彼らを通して、八雲の世界が意外に「今」と重なっていることを感じさせてくれます。(高学年以上向き、1500円+税)

『もしも君の町がガザだったら』(高橋真樹・著、ポプラ社)

海外のニュースで、日本人が一番苦手？なのが、中東ではないでしょうか。そもそもパレスチナ問題とは何か？ ナチスによって被害を受けたユダヤ人の国イスラエルが、なぜパレスチナに対して仮借なき攻撃を続けるのか。この疑問についても、例えばシオニズム運動によってユダヤ人のイスラエル移住が始まったのは、ナチスが台頭する40年近く前、とか、知らないことばかりでした。また、今日のパレスチナ問題の背景に、アメリカやヨーロッパ諸国が歴史的にどう絡んでいるかも、まるで結び目を解くようにわかりやすく解説してくれています。そして、一番印象的だったのは、著者のパレスチナ人の友人への、「なぜイスラエル人は、ガザの人たちの痛みに関心なのか？」という問いかけに対して、「日本にもパレスチナがあるじゃないか」と言われたという後書きの一節。それは沖縄のことでした。さまざまな気づきの多い一冊でした。(中学生以上向き、1800円+税)



# ベルマーク寄贈者リスト(敬称略)

〈マーク寄贈者〉 12月21日～1月20日  
▼北海道 岩原和子 岸篤子 北村弥生 佐々木寿記 (株)インテンション 太田摂子 清水三千枝 菊池美保 本郷君枝 松田千枝 SOMPO コミュニケーションズ(株)札幌センター 匿名希望 ▼青森県 太陽鉱油(株)八戸北パイパスSS ▼岩手県 太陽鉱油盛岡南センターSS チーム【製】 加藤由美子・安紀子 匿名希望 ▼宮城県 柴田尚子 千葉志保 ▼秋田県 損保ジャパンキャリアビューロー(株)秋田事業所 太陽鉱油(株)秋田南インターSS 匿名希望 ▼山形県 奥山俊 内山幸江 後藤恵美子 明治安田生命米沢営業所 長岡利光 匿名希望 ▼福島県 加藤順子 大河原浩美 匿名希望 ▼茨城県 阿波崎泰子 裕成恵美子 (株)かんぼ生命保険 野口奈穂美 東海村社協 長谷川優子 立花完坂 舘隆子 塩幡保浩 篠崎かおり 徳丸美知子 匿名希望 ▼栃木県 きいろいさくらんぼ 豊崎昭利 木村紘子 藤本純子 長岡花恵 相良奈緒 ▼群馬県 加藤美佐子 池田町子 浅井晶 田口良子 関昌一 宮内信子 匿名希望 ▼埼玉県 照雄 岩崎佳代子 漆原宏一 さいたまのゆず種 高原翔 八坂剛史 松木美砂子 澤本雛子 高岡まさ子 田口飛翔 藤野幸子 後上今日子 成瀬由美子 渡辺美和子 飯田明美 竹内寿治 大野晴美 山崎真弓 あすか薬局 花園店 紫垣佳子 匿名希望 ▼千葉県 軽部美治 関田元子 どんぐり文庫原賀絵三子 石井勝子 バディ彰子 山田幸枝 渡部京子 菅原 林陽子 松田ふき子 武藤千恵子 岸王章 松本亜矢子 吉岡美枝子 永井美代子 鈴木いそ系 高村幸太郎連翹忌運営委員会 田中義樹 東芝エレベータ(株)東関東支社 神崎美樹 匿名希望 ▼東京都 DHL グローバルフォワード

イングジャパン(株) 小豆沢福祉園 阿部カヨ子 五十嵐かおり 上原弘之 内野恵美 大澤賢司 大島真理子 金本郁枝 栗林イリ 小渡久美子 須永えり子 徳矢まり江 中谷真知子 中野静枝 堀内きよ 三橋由紀 矢吹光恵 吉田みどり 渡辺慶一郎 栗山綾 IHG・ANA ホテルズ労働組合連合会 石黒晴美 小俣珠乃 第一生命保険(株)団体年金サービス部・CX 推進部 タナカタデヒデノリ 山下麻衣子 北野陽子 増目洋子 タカエイズミ 日本生命保険相互会社 堀美紀 市川佳世子 小沢心優 AGC (株)電子カンパニー先進機能ガラス事業本部 厚地洋之 小番由美子 太刀川忠良 日本生命保険相互会社 社医事研究開発室(東京) 堀川貴人 明治安田生命赤坂営業所 森博之 寺田真人 中村寛 factoryhosoyama 並川歯科医院 安田 山崎公子 綿引芳朗 中田将 林愛結美 松田朱代 J&J愛をささやく 荘司進 住電商事(株) 田中 山内彩加 市野谷子 (株)ピッツ 中川真寿美 小出伸子 小林恵美子 齋藤啓子 佐藤利沙 森島真知子 (株)日本能率協会コンサルティング 佐野功次 田中真裕美 谷口義明 一般社団法人紫芳会 パナソニック(株) 柴田富美子 山根友紀子 横山千尋 池谷明信子 伊藤千鶴子 工藤佐和子 メディオフォード(株) 福嶋政昭 匿名希望 ▼神奈川県 大槻糸子 齋藤ちあき 伊達和子 中村智子 梨本純子 日名由希 深澤晴美 茂木裕太 岡本元 鈴木龍馬 角倉ノリ子 宮治久子 NTT 東日本一南関東神奈川グループ 内山慶子 上早予子 福光正利 前田則子 東頼きよ子 北森真治 西山誼 四ツ橋准子 霜島浄子 鈴木英一 萩原大地 原田かおり ASA 二俣川 公益社団法人スコレ家庭教育振興協会 渡邊登 匿名

希望 ▼新潟県 小林 佐久間聡 本間要子 星野奈奈 小林あつ子 畠山俊春 井越幸子 手塚孝洋 ▼石川県 たま 中能登町社協 濱東千恵美 素都桂子 ▼福井県 永岡富美枝 ▼山梨県 川手一美 駿台甲府高 ▼長野県 伊藤夏美 塩川葵生 山本史 佐藤由美 塚田幸江 鶴田智子 大村君江 続木利江 (株)中沢商店 匿名希望 ▼岐阜県 近藤久美子 奥田名美 大津多津子 佐藤幸児 平野浩司 三浦千鶴 荒井麻子 佐藤知美 堀田輝子 井貝未奈 丹羽さおり 匿名希望 ▼静岡県 田中里枝 奥田久美子 本多千夏 喜田川昌之わらべ絵館 三谷幸代 齋藤久美子 匿名希望 ▼愛知県 岡田哲 奥佳樹 (株)ニシオ 林三恵 鈴木由紀 池田照美 内山政子 山内貴子 堀部悦子 丸山桂子 加藤光生 竹田印刷システム部 天野玉枝 田中芳江 道祖 林裕 本美里子 NTP 名古屋トヨペット(株) 鈴木和雄 中川里美 早坂羊子 澤田幸 (株)ホットスタッフ 損保ジャパン(株) 中部エリア支援部 山本朝比古 井出信子 後藤五輪美 (株)アルペン 古田朝子 匿名希望 ▼三重県 山田京子 中島則子 濱口愛 小倉芳 匿名希望 ▼滋賀県 小林まゆみ 寺口眞理子 中野裕美子 ふくた診療所 福原若葉 今若千鶴 辻春子 ▼京都府 市川明美 平尾由紀美 (株)Com-Fill 中村加代子 木村あき子 ▼大阪府 尼崎医療協病院 池田ゆい 加藤紀子 (株)八代塗装 大和ハウス工業(株) 竹内 長井陽子 中村浄江 宮田隆之 明治フレッシュネットワーク(株) 森川悠子 山原加代子 (株)三井住友銀行融資業務部(大阪) 江舛隆男 東君江 上場慶一 前川美穂子 小野桃香 梶田 馬場みわ子 三好美穂 桶谷千晶 中村有木子 日本生命保険(相)保険料G 三好絵理 伊佐登志

子 酒井 今堀潤子 植村智里 津田雅之 東芝エレベータ(株)関西支社 西日本高速道路エンジニアリング関西(株) 濱永雅代 やいこ 枇杷木みつ子 齋藤みゆき 竹林彰子 松岡秀明 岡本数義 八代観光開発部(株) 匿名希望 ▼兵庫県 池田菜穂子 大島果歩 大福敏子 島中一省 後藤麻里子 高橋博美 山田高子 西本明依子 田尾文世 森脇美智子 青野薫 岸陽子 小椋絵美 小林真紀江 西岡千恵 ▼奈良県 小山幸代 下山大輔 森村美保子 新谷靖 匿名希望 ▼和歌山県 近畿大学附属和歌山高・中ベルマークサークル ▼鳥取県 北野恵美子 ▼島根県 匿名希望 ▼岡山県 秋山真理子 岡山市立芳明小 ▼広島県 数下真由美 山崎かおり トヨタカローラ広島(株)福山支店 葉田幸子 ▼山口県 金光教山口県東部教会連合会やつなみレディース 匿名希望 ▼徳島県 匿名希望 ▼香川県 リリーブユウ(株) 中川雅斗 大石敬子 大谷香 匿名希望 ▼愛媛県 松本典子 東芝ライテック(株)今治事業所 四国ガス(株)宇和島支店 匿名希望 ▼福岡県 石橋恵美 金子香穂 黒木美智世 大庭英治 (株)R101 博多作業所 藤本茂子 武田綾奈 馬場邦子 本村健太 桁山洋子 馬場厚誠 匿名希望 ▼佐賀県 榎本加奈美 バーチャレックス九州(株) 中島展子 上石和代 ▼長崎県 有明図書館 久保山繁樹 植松美子 ▼熊本県 牧山健二 増本真紀 高田優美子 匿名希望 ▼大分県 井上義雄 ▼宮崎県 匿名希望 ▼鹿児島県 薩摩黒温泉山華 小倉美由喜 日農生研(株) 沖繩県 外間房恵 ▼佐藤 伊藤 田中裕子 高田登茂子 ▼無記名=113件

〈寄付(現金)〉 12月21日～1月20日  
▼東京都 匿名希望 ▼福井県 匿名希望